

日商簿記検定2、3級の合格を喜ぶ花北青雲高の生徒



花北青雲高 簿記指導に定評

日商検定 2、3級 大量合格

花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校（遠藤敏夫校長、生徒468人）で21日、日商簿記検定で2、3級を取得した生徒に担当教諭から合格証が授与された。今回難関をクリアした生徒は53人で、商工業の高い簿記知識が要求される2級には29人が合格。2級合格者は4年連続して増加しており、生徒の頑張りと教師の指導力が高い評価を受けている。

寺友和教諭を中心とした工夫。授業中に生徒同士による教え合いの時間を設け、自発的な学習意欲を引き出した。小野寺教諭は「生徒自身でアクションを起こし、授業に集中する効果が得られたと感じている。29人も合格するとは思っていなかったが、みんなよく頑張ってくれた」と喜ぶ。

2級に合格した板垣かおりさん（2年）は「課外授業のほか、問題集にもたくさん取り組んだ成果。うれしい」と話し、満面の笑み。戸来結紀子さん（同）も「授業で先生が丁寧に指導してくれたおかげ。就職活動にも自信を持って取り組める」と、充実の表情を浮かべた。

同校ではビジネス情報科を中心に、1年次から同資格の取得を目指した取り組みを継続。商業簿記の基礎や商品売買業での記帳、決算といった初歩的実務の理解力が求められる3級、中小企業の取引を通して商工業簿記の知識を問う2級に、毎年多くの生徒が挑戦して

いる。中でも、2009年度にわずか4人だった2級合格者は10年度に18人、11年度21人、今回の第133回検定では29人と上昇の一途。3級も前年度の47人には及ばないものの、09年度の9人、10年度の20人をしのぐ24人が合格した。

この躍進を支えているのが、同校商業科の小野

岩手日日新聞 平成25年3月22日付

※この記事・写真は「岩手日日新聞社」の許諾を得て転載しています。